



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月14日

上場会社名 中部水産株式会社 上場取引所 名  
コード番号 8145 URL <https://www.nagoya-chusui.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 脇坂 剛  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理統括本部長 (氏名) 臼井 敬人 TEL 052-683-3000  
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年12月10日  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	18,039	0.3	185	10.4	281	10.1	185	△12.9
2024年3月期中間期	17,993	9.4	167	214.0	255	102.4	213	110.6

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	112.35	—
2024年3月期中間期	127.40	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	15,867	13,114	82.6
2024年3月期	16,701	13,123	78.6

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 13,114百万円 2024年3月期 13,123百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	40.00	—	45.00	85.00
2025年3月期	—	40.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	45.00	85.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,200	0.1	345	—	500	0.6	280	△13.8	167.35

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	1,926,900株	2024年3月期	1,926,900株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	289,449株	2024年3月期	253,744株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	1,652,666株	2024年3月期中間期	1,673,339株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間における当社を取り巻く環境は、雇用や所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、個人消費は持ち直しの兆しが見られるものの、物価上昇の影響で節約志向が高まり、回復には時間がかかることが予想されます。また、中東情勢の緊迫化や歴史的な円安水準から一転、円高に振れた為替相場の急激な変動といった懸念材料に加え、大雨による水害や南海トラフ地震といった自然災害リスクなど、先行きは依然として不透明な状態が続いております。

このような状況の中、売上高は、多様化する消費者ニーズに対応するため、情報収集や企画提案力、販売力を強化し、全体で18,039百万円(前年同期比0.3%増)となりました。経常利益は、売上総利益率の改善や経費削減に取り組み、281百万円(前年同期比10.1%増)となり、中間純利益は、特別損失に過年度決算訂正関連費用を計上した結果、185百万円(前年同期比12.9%減)となりました。

今後につきましては、少子化などの人口減少による市場規模の縮小に加え、消費者の食生活の形態や購買行動が変化する中で、市場外流通との競合は一層激しさを増しております。このような状況の中で、当社は、多様化する消費者ニーズに対応するため、広範な情報収集や企画提案力を高め、荷主や販売先の開拓を図り、集荷力と販売力を強化してまいります。また、卸売市場の活性化とそれに伴う新規取引先の獲得につながる体制を構築するとともに、業務の効率化や環境の変化に応じた組織改革を実施して、企業体質の強化を図ってまいります。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (卸売部門)

鮮魚は、海洋環境の変化による漁獲量変動のリスクが依然として続く中、集荷網の拡充と量販店向けの商品提案に注力し、まぐろ、サーモン、マダイなどが堅調に推移した結果、増収増益となりました。

塩冷加工品は、輸入価格の高騰による仕入価格の上昇が要因となり、鮭鱒、凍魚などの取り扱いが減少した結果、減収減益となりました。

この結果、売上高は17,688百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益は197百万円(同13.2%増)となりました。

#### (冷蔵倉庫部門)

回転率の高い生鮮品や冷マグロといった超低温冷凍貨物の入庫が順調に推移したものの、夏場の外気温上昇により電力使用量が増加した結果、売上高は232百万円(前年同期比2.8%増)、営業利益は64百万円(同7.1%減)となりました。

#### (不動産賃貸部門)

主な事業である賃貸マンションが順調に稼働したものの、諸経費が増加した結果、売上高は118百万円(前年同期比1.1%増)、営業利益は84百万円(同0.4%減)となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### ① 財政状態の変動状況

当中間会計期間末における総資産は、15,867百万円となり、前事業年度末に比べ833百万円(5.0%)減少しました。これは主に、現金及び預金846百万円、有価証券299百万円の減少、商品236百万円の増加によるものです。

負債は、2,753百万円となり、前事業年度末に比べ824百万円(23.0%)減少しました。これは主に、買掛金421百万円、受託販売未払金97百万円の減少によるものです。

純資産は、13,114百万円となり、前事業年度末に比べ9百万円(0.1%)減少しました。これは、自己株式の取得89百万円、その他有価証券評価差額金30百万円の減少、利益剰余金110百万円の増加によるものです。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物は、投資活動の結果、定期預金の払戻による収入等により294百万円の増加となりましたが、営業活動の結果、仕入債務の減少等により873百万円、財務活動の結果、自己株式の取得による支出等により164百万円それぞれ減少となったため、前事業年度末に比べ743百万円(12.6%)減少し、当中間会計期間末には5,152百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間会計期間は、業績予想の想定内で推移しており、2024年5月14日発表の通期の業績予想は変更していません。

## 2. 中間財務諸表及び主な注記

## (1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,250,286	5,404,028
売掛金	1,920,607	1,902,924
有価証券	399,764	99,980
商品	1,757,771	1,994,121
貯蔵品	6,822	6,822
その他	12,905	65,000
貸倒引当金	△8,095	△6,445
流動資産合計	10,340,062	9,466,431
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	656,777	638,102
土地	1,955,249	1,955,249
その他(純額)	24,247	22,944
有形固定資産合計	2,636,274	2,616,297
無形固定資産	39,115	31,512
投資その他の資産		
投資有価証券	3,541,926	3,602,849
関係会社長期貸付金	85,000	85,000
その他	747,390	740,727
貸倒引当金	△688,661	△675,077
投資その他の資産合計	3,685,655	3,753,499
固定資産合計	6,361,046	6,401,309
資産合計	16,701,108	15,867,740
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,958,525	1,536,733
受託販売未払金	218,166	120,389
未払法人税等	71,795	59,145
賞与引当金	48,810	49,730
その他	442,505	165,538
流動負債合計	2,739,803	1,931,536
固定負債		
退職給付引当金	316,926	316,763
その他	521,048	505,229
固定負債合計	837,975	821,992
負債合計	3,577,778	2,753,528

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,450,000	1,450,000
資本剰余金	1,045,772	1,045,772
利益剰余金	10,106,310	10,216,690
自己株式	△856,870	△946,137
株主資本合計	11,745,212	11,766,324
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,378,117	1,347,887
評価・換算差額等合計	1,378,117	1,347,887
純資産合計	13,123,329	13,114,211
負債純資産合計	16,701,108	15,867,740

## (2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	17,993,251	18,039,833
売上原価	17,054,036	17,091,913
売上総利益	939,215	947,919
販売費及び一般管理費	771,616	762,825
営業利益	167,599	185,094
営業外収益		
受取利息	5,263	4,741
受取配当金	58,225	57,199
受取手数料	11,727	11,158
その他	12,925	23,516
営業外収益合計	88,142	96,614
営業外費用		
雑損失	0	183
営業外費用合計	0	183
経常利益	255,742	281,525
特別損失		
過年度決算訂正関連費用	—	42,314
特別損失合計	—	42,314
税引前中間純利益	255,742	239,211
法人税、住民税及び事業税	60,425	54,118
法人税等調整額	△17,865	△578
法人税等合計	42,560	53,539
中間純利益	213,182	185,671



(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益	255,742	239,211
減価償却費	37,285	32,962
過年度決算訂正関連費用	—	42,314
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△312	△15,233
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,805	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,074	920
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,777	△163
受取利息及び受取配当金	△63,489	△61,940
売上債権の増減額(△は増加)	△565,103	24,190
棚卸資産の増減額(△は増加)	640,144	△236,349
仕入債務の増減額(△は減少)	231,671	△519,569
未払金の増減額(△は減少)	66	△10,053
未払費用の増減額(△は減少)	11,200	6,116
未払消費税等の増減額(△は減少)	120,570	△279,991
その他	75,728	△16,193
小計	718,846	△793,779
利息及び配当金の受取額	63,494	61,371
法人税等の支払額	△37,473	△66,625
過年度決算訂正関連費用の支払額	—	△74,808
営業活動によるキャッシュ・フロー	744,867	△873,841
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	400,000	300,000
定期預金の預入による支出	△320,800	△221,200
定期預金の払戻による収入	321,000	323,700
有形固定資産の取得による支出	△2,040	△5,428
投資有価証券の取得による支出	△132,514	△102,605
投資活動によるキャッシュ・フロー	265,645	294,466
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△137	△89,267
配当金の支払額	△75,271	△75,203
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75,408	△164,471
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	935,104	△743,846
現金及び現金同等物の期首残高	3,436,317	5,896,561
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,371,422	5,152,714

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年6月17日開催の取締役会決議に基づき、自己株式35,600株の取得を行いました。この結果、当中間会計期間において自己株式が89,000千円増加し、当中間会計期間末において自己株式が946,137千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	冷蔵倉庫 部門	不動産賃貸 部門			
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	17,649,873	226,580	—	17,876,454	—	17,876,454
その他の収益	—	—	116,797	116,797	—	116,797
外部顧客への 売上高	17,649,873	226,580	116,797	17,993,251	—	17,993,251
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	67,592	—	67,592	△67,592	—
計	17,649,873	294,172	116,797	18,060,844	△67,592	17,993,251
セグメント利益	174,355	69,075	85,259	328,690	△161,091	167,599

(注) 1 セグメント利益の調整額△161,091千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに  
収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	冷蔵倉庫 部門	不動産賃貸 部門			
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	17,688,947	232,818	—	17,921,765	—	17,921,765
その他の収益	—	—	118,068	118,068	—	118,068
外部顧客への 売上高	17,688,947	232,818	118,068	18,039,833	—	18,039,833
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	72,785	—	72,785	△72,785	—
計	17,688,947	305,603	118,068	18,112,619	△72,785	18,039,833
セグメント利益	197,375	64,147	84,946	346,470	△161,375	185,094

(注) 1 セグメント利益の調整額△161,375千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。